

2023 年度春期

スーパーバイザー士筆記試験

2023 年 8 月 23 日 (水) 実施

13:30~14:30

3. 財務・問題解決

(該当講義 講義③、⑥、⑦)

答案作成上の注意

- ◇ 解答用紙の所定の欄に氏名を記入してください。
- ◇ 係りの合図があるまではこの表紙をあけないでください。
- ◇ 解答は解答用紙に記入してください。
- ◇ 試験時間は 60 分です。
- ◇ 試験開始後 30 分で退出できます。
- ◇ 退出される際には、出入口にいる事務局員に解答用紙を提出してください。
- ◇ 再入場はできません。



一般社団法人

日本フランチャイズチェーン協会

財務諸表の知識(税務含む)

【問題 1】 配点 8 点 (各 2 点)

減価償却とは、使用することによってその価値が減少する資産（減価償却資産）の取得価額をその使用可能期間に費用配分する計算手続きです。

減価償却資産の償却方法については、それぞれの資産の区分に応じて選定できる償却方法が異なりますが法人税法においては、例えば次の表のような償却方法を選定することができます。また、次の表には法人が税務署に償却方法の選定の届出をしなかった場合のそれぞれの資産の区分に応じた法定償却方法も記載してあります。

| 資産の区分 | | 選定できる償却方法 | 届出をしなかった場合の償却方法（法定償却方法） |
|-------------------|-----------------------|-----------|-------------------------|
| 建物 | 平成 10 年 3 月 31 日以前に取得 | 定額法または定率法 | 定率法 |
| | 平成 10 年 4 月 1 日以後に取得 | 定額法 | |
| 建物附属設備、構築物 | 平成 28 年 3 月 31 日以前に取得 | 定額法または定率法 | 定率法 |
| | 平成 28 年 4 月 1 日以後取得 | 定額法 | |
| 工具器具備品、機械装置、車両運搬具 | | 定額法または定率法 | 定率法 |
| 無形減価償却資産（ソフトウェア） | | 定額法 | |

なお、中古取得した資産の減価償却計算を行う場合の耐用年数は、その資産の残存耐用年数を合理的に見積ることが原則となっていますが、実務においては「合理的に見積もること」が困難な場合が多くみられます。そこで税法においては、次の表のような方法で計算した耐用年数を使用することができるものとしています。

【簡便法による耐用年数計算】

| | |
|--------------------|---------------------------------|
| 法定耐用年数の全部を経過している場合 | 法定耐用年数 × 20/100 |
| 法定耐用年数の一部を経過している場合 | (法定耐用年数 - 経過年数) + 経過年数 × 20/100 |

(注) 上記算式で 1 年未満の端数は切捨て、また、2 年未満となった場合は 2 年とします。

前述をふまえて以下の解答欄に指定された減価償却費の額を解答してください。

いずれの資産も令和 5 年中に取得したものです。

計算結果に 1 円未満の端数が生じた場合には、その端数を切り捨てることとします。

計算にあたり必要な資料は以下のとおりです。

【定率法償却率】

法定耐用年数 6 年=0.333、法定耐用年数 5 年=0.400、法定耐用年数 4 年=0.500、
法定耐用年数 3 年=0.667、法定耐用年数 2 年=1.000

【定額法償却率】

法定耐用年数 6 年=0.167、法定耐用年数 5 年=0.200、法定耐用年数 4 年=0.250、
法定耐用年数 3 年=0.334、法定耐用年数 2 年=0.500

① 資産 A：中古乗用自動車（前の所有者が既に 3 年使用したもの）

- ・ 取得価額：1,000,000 円
- ・ 償却方法：定率法
- ・ 新品の乗用自動車の法定耐用年数：6 年
- ・ 毎期の事業供用月数：12 か月

② 資産 B：乗用自動車（新車）

- ・ 取得価額：5,000,000 円
- ・ 償却方法：定額法
- ・ 新品の乗用自動車の法定耐用年数：6 年
- ・ 毎期の事業供用月数：12 か月

| A | B | C | D |
|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| 資産 A の 1 年目の 減価償却費 | 資産 A の 2 年目の 減価償却費 | 資産 A の 3 年目の 減価償却費 | 資産 B の 3 年目の 減価償却費 |
| 円 | 円 | 円 | 円 |

【問題2】（配点32点）

次の①～⑩の取引から解答用紙の貸借対照表を作成してください。特に記述のない場合には、それぞれの取引は現金で行ったこととします。また、消費税については考慮しないで解答してください。なお、解答にあたっては数字の単位に十分気をつけてください。

- ① 当社は01年4月1日に資本金1,000万円で設立しました。決算期は3月31日です。
- ② 今期の事業年度は01年4月1日～02年3月31日（以下、「今期」という）
- ③ 今期の売上高は2億円であり、このうち400万円は未回収（売掛金）で、仕入高は1億5,000万円であり、このうち300万円は未払い（買掛金）です。
- ④ 02年3月31日に商品の棚卸しを行った結果、仕入金額ベースで180万円分ありました。
- ⑤ 今期の役員・従業員に対する給与は総額で2,000万円でした。
- ⑥ 01年4月1日に金融機関から2,000万円借り入れをしました。返済期間は7年です。
今期の元本返済額は350万円であり、今期はこの元本返済の他に支払利息40万円を支払いました。
- ⑦ 固定資産（器具備品）の購入価額は2,000万円であり、01年4月1日から事業用として使用しています。
- ⑧ 上記⑦器具備品の耐用年数は10年（定率法による償却率は0.20）です。定率法により今期の減価償却費を計算してください。
- ⑨ 今期に支払った家賃は1,500万円でした。
- ⑩ その他今期の諸経費として1,200万円支払いました。

貸借対照表 02年3月31日現在

| 科目 | 金額（円） | 科目 | 金額（円） |
|----------|------------|-----------|------------|
| 現金 | | 買掛金 | |
| 売掛金 | | 長期借入金 | |
| 商品 | | | |
| 器具備品 | 20,000,000 | | |
| 減価償却累計額△ | 4,000,000 | 資本金 | |
| 器具備品差引残高 | | 経常利益 | |
| 資産の部計 | 29,900,000 | 負債・純資産の部計 | 29,900,000 |

計数管理の知識

【問題 3】 配点 18 点（各 2 点）

次の文章を読み、正しいものに○、誤りのあるものに×を解答欄に記入してください。

- ① 総資産経常利益率を把握することで、企業の財務上の安全性を分析することができる。
- ② 総資産回転率は、回転数が少なければ少ないほど効率的に資産を活用している。
- ③ 売上高営業利益率を向上させるためには営業外費用を削減することが必要である。
- ④ 商品の廃棄ロスを削減することは、売上原価率の低減には結び付かない。
- ⑤ 損益分岐点比率は、数値が高いほど良好といえる。
- ⑥ 損益分岐点の引き下げは、変動費率の引き上げと固定費の引き下げにより実現できる。
- ⑦ 流動比率は、100%以下が理想とされる。
- ⑧ 固定長期適合率は、100%以上が最低必要水準である。
- ⑨ 自己資本比率向上は、収益性を改善し、利益を上げて内部留保することで実現できる。

【問題 4】 配点 12 点（各 2 点）

表は FC 加盟のカフェ 2 店舗を運営する企業の損益計算書です。コロナ禍が収束し客数が回復する中、営業黒字に転換しました。ただ、厳しい状況は続いています。次の文章の空欄に適切な記号（大文字のアルファベット）を語群より選択し、解答欄に記入して下さい。

| 項目 | | 金額（千円） | 構成比 |
|-----------|--------|---------|--------|
| 売上高 | | 119,000 | 100.0% |
| 売上原価 | | 53,000 | 44.5% |
| 売上総利益 | | 66,000 | 55.5% |
| 販売費・一般管理費 | | 65,790 | 55.3% |
| 販管費の内訳 | 人件費 | 33,000 | 27.7% |
| | 水道光熱費 | 4,760 | 4.0% |
| | 販売促進費 | 500 | 0.4% |
| | 減価償却費 | 500 | 0.4% |
| | 地代家賃 | 14,160 | 11.9% |
| | その他経費 | 10,000 | 8.4% |
| | ロイヤリティ | 2,870 | 2.4% |
| 営業利益 | | 210 | 0.2% |

当社の損益分岐点売上高は、売上原価とロイヤリティを変動費、ロイヤリティを除く販売費・一般管理費を固定費とすれば（ ① ）になる。したがって、損益分岐点比率は（ ② ）、安全余裕率は（ ③ ）となる。赤字転落のリスクは（ ④ ）といえる。固定費及び変動費率に変化がない前提下で、営業利益 5,000 千円を確保するための目標売上高は（ ⑤ ）、営業利益 3,000 千円では目標売上高は（ ⑥ ）が必要になる。

【語 群】

A. 117,240 千円 B. 118,605 千円 C. 124,260 千円 D. 128,030 千円
 E. 134,565 千円 F. 99.7% G. 98.5% H. 0.3% I. 1.5% J. 高い K. 低い

問題解決手法

【問題 5】 配点 24 点（各 2 点）

以下の問いに記号で答えなさい。

1. 問題にはいくつかの型がありますが、以下の記述で正しいものを選びなさい。
 - ア) 探索型問題とは、現状をもっと良くしたいというところから生じる問題である。
 - イ) 探索型問題は、原因志向型問題とも呼ばれている。
 - ウ) 設定型問題とは、現在設定している目標との差異が生じた場合の問題を指す。
 - エ) 未達問題は、探索型問題のうちのひとつのパターンである。
 - オ) 回避問題は、発生型問題のうちのひとつのパターンである。
2. M E C E になっているのはどれか？
 - ア) 飲み物は、清涼飲料と炭酸飲料に分解できる。
 - イ) 飲み物は、ノンアルコール飲料とアルコール飲料に分解できる。
 - ウ) 飲み物は、お酒と炭酸飲料に分解できる。
3. 定量的に分解する場合、間違っている式はどれか？
 - ア) $\text{売上高} = \text{客数} \times \text{客単価}$
 - イ) $\text{営業利益} = \text{売上総利益} - \text{固定費}$
 - ウ) $\text{売上総利益} = \text{売上高} - \text{変動費}$
4. 問題を絞り込む方法について、以下の記述で正しいものはどれか？
 - ア) 時系列や他店との比較は、絞り込む際の視点として有効である。
 - イ) 自店の問題なので、競合や他店との比較はあまり有効ではない。
 - ウ) K P I は、大企業には有効だが、中小のチェーンにはあまり役立たない。
5. 原因究明について以下の記述で正しいものはどれか？
 - ア) 原因は問題を裏返すことで容易に究明できる。
 - イ) 3C 分析は、原因究明のフレームワークとして有効である。
 - ウ) 原因を絞り込む際には、以前と比較して変化の大きい要素を特定することがポイントとなる。
6. 正しい因果関係について、以下の記述で間違っているものはどれか？
 - ア) 売上が低下したので賞与が削減された。
 - イ) 業務改善を行ったので一人当たりの生産性が改善した。
 - ウ) 雑誌で自店のことが取り上げられたので客数が増加した。

7. S Vが行う問題解決に関する以下の記述について、正しいものはどれか？

- ア) S Vは、本部の理念や方針を正しく理解していなければならない
- イ) S Vにとって、加盟店の売上を上げることが最も重要であり、利益までは考慮する必要はない
- ウ) S Vは担当店舗の問題を店長に代わって解決する存在である
- エ) 問題が発生したら、まずは「なぜ (Why) ?」と問いかけるべきだ
- オ) 細かい原因分析を行ったうえで対策を考えるよりも、経験に基づいた対策をすぐに実施する方が大切だ
- カ) S Vは、問題が発生したら即時に解決策を加盟店に提案しなければならない
- キ) 担当店舗の問題解決は、オーナーや店長と問題の共有を行うことが出発点である
- ク) 問題の細分化は、原因がわかりづらくなるため行うべきではない
- ケ) S Vは、担当店舗の問題解決の実績を他のS Vと共有する必要はない
- コ) 問題解決を正しく行うには、真の問題とは何かを明確にすることが重要だ

【問題6】 配点6点 (各1点)

以下の文章の空欄に正しい言葉を語群から選びなさい。

問題解決を図るうえで、解決策をいくつか列挙した中から優先順位の高いものを選択する際には、リスク、(①)、実現可能性、(②)、(③) をそれぞれ評価して絞り込んでいきます。

スーパーバイザーに必要な機能として、5C+P といわれるものがあります。5C とは、Consulting、(④)、Counseling、(⑤)、(⑥) を指します。P は、Sales Promotion を指します。

(語群)

| | | | |
|----------------|-----------------|---------------|------------------|
| ア) 結合改善 | イ) 成果度合い (効果度) | ウ) 成果 | エ) コストバランス |
| オ) アウトプット | カ) スピード | キ) Competitor | ク) Communication |
| ケ) Customer | コ) Company | サ) Control | シ) Corporation |
| ス) Cleanliness | セ) Coordination | | |